

1 きみまち阪

明治14年、当地を訪れた明治天皇がその美しさに感動し、名称が定まっていなかったこの地を「きみまち阪」と名付けました。米代川を挟んで対岸には、原生林の「七座山」がそびえます。四季折々に、桜や紅葉などの木々が彩ります。



2 風の松原

能代市の海岸沿いに連なる「風の松原」は日本最大級の規模を誇る松林です。東西最大幅1km、南北総延長14km。面積は約760haで、東京ドーム163個分もの大きさです。厳しい海風による飛砂を防ぐために江戸時代から植栽されてきたもので、700万本もの見事な松林となっています。



3 能代市旧料亭金勇

金谷勇助氏によって昭和12年に建て替えられ、平成20年まで料亭として使われていた歴史のある建物で、国登録有形文化財になっています。1階中広間の約9メートルにわたる中空(板の中央部分が板目で両端部分が柱目の木材)の天井など貴重な木材をふんだんに使用した、木都能代を代表する建築物です。



4 シーニックカフェ「夢工房 咲く咲く」

のしろ白神の道の交流や活動の拠点であり、地域情報や「食育」「地産地消」をテーマにした安全安心メニューのランチを提供しています。また、料理教室やコンサート、朝市などを開催しています。



5 井坂記念館

木都能代の父「井坂直幹」の偉業を顕彰するため、昭和47年に開館されました。直幹の遺品や能代の木材産業の歴史、砂防林の歴史などの資料を展示しています。一階には木材業関係の資料、二階には井坂直幹の遺品を中心に展示しています。



6 坊中橋

坊中橋は、地元の秋田スギ集成材と鋼材によるハイブリッドの車道橋です。白神山地への玄関口に位置することから、白神の山々をイメージしたトラス橋となっています。近隣には白神山地世界遺産センター・藤里館があり、白神山地の自然について展示・解説をしています。



7 留山

留山は、標高160m~180mの里山ですが、樹齢300年以上のブナ・ミズナラの巨木が里山で見られる全国でも珍しい場所です。全長850mの散策路が整備され、気軽にトレッキングを楽しむことができるのも魅力です。入山の際は荒廃を防ぐためガイドの同伴が必要となっています。



8 鹿の浦展望所

県立自然公園「八森岩館海岸」を有する八峰町の海岸線は、岩礁地帯と砂浜、海岸段丘が続く風光明媚な海岸で、釣りや海水浴にも人気です。好天時にはどのポイントからも美しい夕陽を見ることができ、サンセットビーチとして親しまれており、鹿の浦展望所からも日本海の美しい海岸線と、夕陽の絶景を一望することができます。



世界自然遺産
白神山地

のしろ 白神の道

環境省白神山地
世界自然遺産センター
●「藤里館」



0 5km

木の香る道づくりモデル地区

のしろ白神の道では、「木の香る道づくり」を推進しています。国道7号モデル地区における黒松並木と木製防護柵の整備、秋田自動車道太平山PAでは、トイレ内装の木質化を行っています。



黒松並木と木製防護柵



秋田自動車道太平山PAのトイレ内装木質化



のしろ白神ネットワーク



能代河川国道事務所

日本風景街道とは、地域住民、NPO、企業、行政等の多様な主体による協働のもと、道を舞台に、自然、歴史、文化などの地域資源を活かした美しい国土景観の形成を図り、地域の活性化や観光の振興を目指す取り組みです。のしろ白神ネットワークでは、「のしろ白神の道」を通じて「木のまち・木の香る道づくり」を目指しています。



常盤川の夜明け



のしろ白神ネットワーク

のしろ白神の道

日本風景街道